

■ 銘柄: 穀物 ■

氏名: 渡邊 重司

穀物市場調整入りを視野に!



■ コメント ■

コーン先限24010円 -550円 一般大豆先限45720円 -230円

東京コーンチャートは、一目均衡表・基準線をかろうじて維持したものの、上値が重くなってきた様子。5月中旬も似たような展開があったが、今回はやや長い陰線が多く見受けられることから、戻ったところに売り圧力が潜んでいる形か。

先週末は商社の期近玉が決済され、限月間の順ザヤが拡大してきた。

もし、MACDのデッドクロスが確認された場合は、4月の戻り高値実線ベースで22430円がターゲットになり得る。

今朝、米農務省から発表のあった生育進捗報告もおおむね良好。作付けが遅れていたイリノイ・インディアナ州も90%以上が完了。遅れた分は生育に懸念を残すも、他の州の作柄が極めて良好となっていることで、現時点では強材料よりも、弱材料に反応しやすい地合いか。明朝の需給報告も大きな反発は見込めない可能性が高いとみる。(16:30 渡邊)

■ テクニカル ■

移動平均(25MA)
23320
移動平均(50MA)
22371
基準線
22785
転換線
23975

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。